

ふるさとの原風景を訪ねて

「白と黒の造形美と俳句」の視点から

2022 9月27日 [tue] | 10月16日 [Sun]

ギヤラリーー停車場 (旧長井小学校第一校舎内)
開館時間: 10:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日

菊地隆知と私たちの長井線

長井線百周年記念関連イベント

2022 12月20日 [tue] | 12月25日 [Sun]

ギヤラリーー停車場 (旧長井小学校第一校舎内)
開館時間: 10:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日

主催: 市民美術館設立をすすめる会 共催: 長井市地域おこし協力隊野堀勝明 / 一般財団法人文教の杜ながい
協力: 山形鉄道株式会社 お問い合わせ: 市民美術館設立をすすめる会事務局 tel: 090-6226-3997

菊地

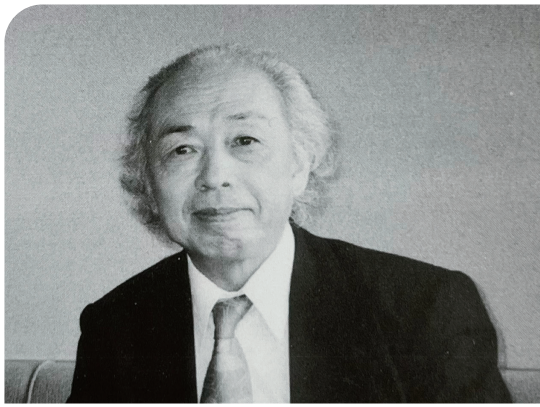
K i k u c h i R y u c h i
H A I K U x P R I N T E x h i b i t i o n

隆知



市民美術館設立をすすめる会

市民美術館設立をすすめる会では、ご家族から隆知先生の作品が、市へ寄贈されたのを受け、作品の整理・データ化を昨年度で完了しました。今年度は、作品テーマごとの企画展や作品に関連する情報の収集と、作品のデジタル化の作業を進めてまいります。隆知先生の作品をより身近に感じていただければ幸いです。



菊地 隆知 Kikuchi Ryuchi Profile

1930年、長井市生まれ。終生長井に居住。予科練から帰郷し教師の道へ。19歳、中学校に奉職中、陸上競技の円盤が頭部に当たる事故で入院。入院中、白黒版画で著名な平塚運一氏の著書に出会い、以降深く傾倒。25歳で自作の川柳30句が県紙Y紙に掲載され、翌年以降、『川柳山形』誌の表紙を木版で飾る(50余枚)。

1961年(31歳)、以前の頭部負傷の後遺症のため福島医大に入院するも、回復時に右半身不随。平塚氏の励ましもあり、左手だけで彫刻刀の細かな操作の修練を積み重ねる。古来変わらぬ姿の最上川の情景や廃れ行く古民家等をモチーフに、白と黒のみで数多の作品を残しているが、左手のみの造形性は20代と比べてむしろ豊かさを増している。現地の実景そのままを写し取ることが困難になることを逆に、対象の本質を瞬間的に脳裏に刻む資質が磨かれたものであろう。その基底には、抜群のデッサン力と、「版画とは何か」を問い続ける精神的な強さがあった。左手だけで彫刻刀の細かな操作の修練を積み重ねる。

1966年(36歳)長女を交通事故で亡くす。当時、旧長井中時代の恩師の導きで長井俳句会に通い、秋元不死男等の著名な俳人との交流も重ねていたが、愛嬢の喪失という人生の痛手を作句に込めて癒した。また、俳句のイメージから絵柄を追求して1枚の板に彫りこんで創る「俳画」に挑戦し、文字デザインや画面構成、具象性、抽象性等々を開拓し、作品群を積み上げた。

1968年(38歳)、“伊佐沢の念仏踊り”をモチーフにした作品で日本版画院(hangain)会員(現同人)に推挙される。中央の俳人とも交流し、俳句のイメージから絵柄を追求して1枚の板に彫りこんで創る「俳画」に挑戦する。

1981年(51歳)、心筋梗塞で入院。入院中に俳誌『彫屑』を編集し、退院後刊行。版画の白と黒に隠された色彩の謎と俳句の17文字の枠を超えた空白は、作品を鑑賞する人の感性に仮託されているという点で共通する。

2005年(75歳)、棟方志功賞(日本版画院展最高賞)を『SIMA3』で受賞。この作品で追求した抽象的な造形は、俳句の引き算の妙が強く働いている。人々の生業と歴史をにじませる古民家の枯淡な姿への視線と、造形性溢れる味わいの「島」を創り上げる作家の『永遠』を見つめる視線は同じである。

2018年(88歳)没。生涯、ふる里長井で制作を続けた。

- 1965年(35歳) 東北現代美術協会(現「北展」)会員に推挙される。
- 1971年(41歳) 県展史上初めての洋画、日本画、彫刻3部門同時入賞。
- 1973年(43歳) 東京にて初個展以降、各種展示会を県内外で開催。
- 1974年(44歳) 第4回長井芸術文化賞受賞 受賞記念展を市民文化会館で開催。
- 1993年(63歳) 版画院・院展審査委員長に就任。
- 2000年(70歳) 長井市後援の木版画展開催 翌年、『齋藤茂吉文化賞』を受賞。
- 2005年(75歳) 棟方志功賞(日本版画院展最高賞)を『SIMA3』で受賞。
- 2013年(83歳) 第63回日本版画院展に最後の出品。

ふるさとの原風景を訪ねて 「白と黒の造形美と俳句」の視点から

①俳句に絵柄を付けた「俳画」23点、②故郷がモチーフの版画と自作の俳句を独自に編集(右頁に俳句、左頁に版画)した「豆本」3冊、③豆本に掲載した作品から選択した実物版画8枚、④自選句集『彫り屑』を展示します。

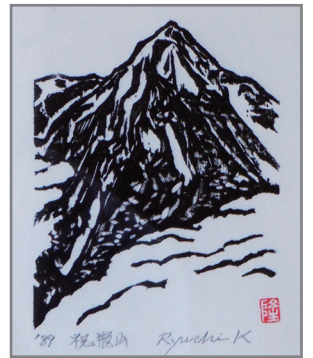
2022 9月27日(tue) - 10月16日(Sun)

ギャラリー停車場(旧長井小学校第一校舎内)

開館時間:10:00~17:00 休館日:月曜日



夕東風や/1968年



祝瓶山/1989年

長井線百周年記念関連イベント

菊地隆知と私たちの長井線

昭和58年から平成9年にかけて、長井線の駅舎(15駅)を22作品制作しております。この作品は長井市の文化情報誌【芳文】の表紙に掲載され、同時にその時の思いを文章にして残しております。

※本企画展では、【芳文】の許諾を得て、作品と文章を再掲した小冊子を作成し、来場者に無料で配布します。

2022 12月20日(tue) - 12月25日(Sun)

ギャラリー停車場(旧長井小学校第一校舎内)

開館時間:10:00~17:00 休館日:月曜日



長井駅/1984年



羽前成田駅/1984年

復刻版について

市民美術館設立をすすめる会では、以下の作品集(豆本)の復刻版の発刊を検討しておりますが、一部の作品の所在が不明です。皆さんの情報をお待ちしております。
句と版画「早春のむら」(緑の笛豆本の会 弘前) / 句と版画「秋のいろ」(自家版豆本) / 句と版画「造形」(みちのく豆本の会 酒田)

菊地隆知作品が見られる場所(令和4年10月現在)

- そばつる徳&パンカフェ JuJu
長井市四ツ谷 2-2-8/0238-87-0323/定休日(火・水・不定休あり)
- 桃花楼支店
長井市中道 2-7-12/0238-84-1556/定休日(水)

